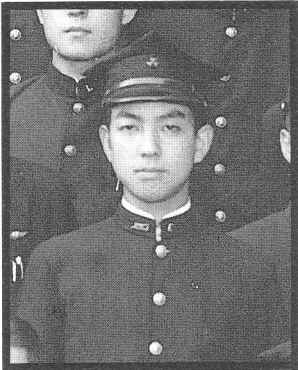


訃 音

金沢亮三氏



欠かさず、それらの会合に参加して供養や交友につとめられた。

永年の苦勞が実をむすんだので、余力と余裕が出来てたので、これからご夫妻で楽しい日々を過ごそうと話されていた矢先のこと。

突然の御不幸はまことに残念なものと存じます。ご冥福をこころからお祈り致します。

住所 〒632 奈良県天理市川原城町319

TEL 07436-2-0637 金沢幸子夫人

ご子息 正明氏

(昭和22年経卒 佐々木 哲)

特別会員 金沢亮三氏(昭和21年法卒)

平成5年3月26日自宅にて病没。病因は脳梗塞。

遺族—幸子夫人。

昭和16年 大学予科。航空部に入部。学生航空連盟関西支部機関部所属。

昭和17年 大津海軍予備航空団に転科。水上飛行訓練を受ける(天虎飛行訓練所)。

昭和18年 大学法学部。12月の学徒出陣で特別操縦見習士官。
筑波滑空戦隊。陸軍少尉。八日市航空隊にて復員。

戦後は戦災のため、奈良県天理市に移転。

進々堂書店支店開設などの仕事の後、天理市で『奈良美顔センターロビン』を設立。

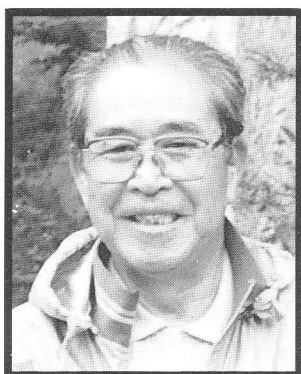
県内2ヶ所に支店の開業に成功。

温厚で立派な人柄が、仕事の拡大に成功されたものとおもいます。

終戦時の滋賀県八日市航空隊の慰霊祭への出席は



角田信三氏



平成5年7月1日彦根市民病院にて病没。肺炎。

旧制彦根中学より同志社大学予科入学。航空部入部。

昭和18年12月学徒出陣。下志津飛行学校に入隊。

戦後 野村貿易(神戸)、興和株式会社(名古屋)役員歴任。

遺族 信子夫人。

昭和16年の大学予科の航空部に入部したところ、あまり背たけは大きくないが、おとなの風貌の一年上級生で名門彦根中学のボート部で鍛えた、いろぐろでがっちりした角田サンに出会いました。本来ボート部は硬派のゴンタなのですが、見かけによらず当人はやや軟派気味のおとなの遊びを心得た話しのおもしろい方でした。当時の盾津飛行場のグライダー練習や、飛行機操縦練習に大阪第二飛行場(現在の伊丹空港)へ通うみちみちでいろいろの話しをしてくれ、帰りにピアホールなどでご馳走になりました。特別合宿をしながら二等操

縦士免許も一緒に獲得しました。

ある日同期の河合君と向日町ちかくの離れ家の下宿に伺ったところ部屋におんなのひとの着物がつってあったので当時17、8才の我々はなんとませたオッサンやなとたまげたことです。その着物が信子夫人のものかどうかはいまだにわかりません。

下志津飛行学校の見習士官の頃、瀬戸内海での陸軍船舶部隊の航空母艦秋津丸での離着艦も一緒にやりました。千葉の飛行学校から加古川飛行場に移動の際に京都駅で手を振っていられたのが現夫人であったのは間違いないと思います。

社会人としては、野村貿易で米国出張もあり、繊維、食料等いろいろの商品を手がけて活躍。名古屋に移って興和(株)の役員の頃は詳細を聞く機会はありませんでしたが、彦根に住んでからも興和関係の社員教育やコンサルタントの仕事をしておられました。

ここ数年は下志津飛行学校同期の会合では、盃を片手に碁を打って楽しい時間を過ごしておられましたが、二年ほど前から入院の為年賀状も欠礼するとみなさんへの案内が来たりして、気に懸かっておりました。

入院前後には学生航空連盟の親しかったひとたちに逢いたいものとおっしゃってられました。航空部から飛行学校までの青春のまっただ中を一緒に過ごした私にとっては、腹の太い、やや話が大きくて楽しい方に逢えなくなっていました。たいへん残念に存じます。ご冥福をお祈り致します。

(昭和22年経卒 佐々木 哲)

石田文雄氏



平成5年11月20日 呼吸不全のため病没。享年75才。昭和16年法学部卒。

二等飛行機操縦士。朝日新聞社に入社。復員後航空再開の昭和27年から在職中ほとんどの間、学生航空連盟の事務局長として活躍された。

学生航空連盟の財団法人設立。妻沼、木曾川、久住等各滑空場や宿舍の開設等に奮闘され、学生グライダーの選手権大会の開催や後輩学生の強化訓練などにも尽力された。同志社の後輩達の中にも石田サンに世話になったものも多い。

その上日本滑空協会の設立にも参画された。永年の貢献に対して、1991年にはF.A.I.(国際航空連盟)からのポール・ティサンディエ賞を贈られている。

ご遺族 利子夫人 〒235 横浜市磯子区岡村7-24

木々の若葉の美しい頃になりました。

お変わりなくお越しの御事と存じ上げます。

生前文雄がお世話になりまして有難うございました。又お送りいただきました翔友を楽しみに致

しておりました。厚く御礼を申し上げます。

此の度、翔友IXにお載せいただきますとの事亡夫もあの世でさぞ喜こぶ事と存じます。

お世話になります橋本元雄様にもよろしくお伝え下さいませ。

私事でございますが半年経た今も悲しみから抜け切れずにおりますが皆様のお励ましを頂き残る人生を悔いなくと努力致しております。

なかなかよい写真がなくとり敢えず一枚お送り申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。

春とは申しまして不順な日もございます故何卒お大切にお過ごし遊ばしますよう。翔友会の皆様の御健康と会のますますの御発展をお祈り申し上げます。

五月六日

石田 利

(石田利子様よりの来信)



石田さんとの思い出の フライト

橋 本 元 雄

昭和15年(1940年)航空日が9月28日設定を記念し全国各地でパーゼントが開催され、その催しの一つとして、福岡雁ノ巣飛行場での催しに、日本学生航空連盟関西支部は九五式一型の編隊飛行を行う為前日の9月27日白石留蔵教官を一番機として、二番機 前席橋本、後席 石田文雄さん、三番機 牧野伊兵衛さんの三機編隊で加古川陸軍飛行場で給油し一路雁ノ巣に向って飛行した。

当時の山陽道は、呉に海軍の要塞がある等飛行出来なく瀬戸内海の四国側を一路南西に向け飛行中、雲の中に突入 二機を見失いしばらく飛行していたが現在地がわからず、石田さんに声を掛けるも爆音で聞えず、下を見ると鉄道線路が見えるので、駅名でも判るかと思い、低く降りて見たが全然ダメ、後方の石田さんの顔を見るも、自信の無い様子、現在地の確認は出来ず、二人とも途方にくれる。

高度をとり直し、とにかく西に向って行けばなんとかなるとしばらく飛行していると、左側に突如、松山城の姿を見、ようやく現在地をつかみ、一安心 四国から九州に向って海峡にさしかかった際、エンジンが変調、今度はエンジンかとドキリとする。

九五式一型のガソリンタンクは胴体と翼と二箇所があり先に胴体タンクを使用し後で翼のタンクに切り替えるのだが、雲の中への突入ですっかり忘れており、燃料タンクの切替を操作するとエンジンは快調に爆音をとどろかし、後方の席の石田さんを振りかえり見た顔が、後日石田さんが見たことないうれしそうな顔だったと、語って呉れたことが懐しく思い出されます。

その後は快調に、夕暮の雁ノ巣飛行場に着陸翌日のデモンストレーションも無事終り、帰りは快

調な飛行でした。

昭和15年(1940年)4月 紀元2600年奉祝、連盟創立10周年記念 日本一周2600軒飛行を共に飛んだ関大・山村 彰さん

同年9月 航空日制定記念飛行で共に飛んだ石田文雄さん等々 懐しく思い出されます

(昭和16年法卒)

航空記念日

現在、空の日は9月20日であるが、第1回は昭和15年9月28日で第2回目から9月20日になった。

昭和15年9月27日付朝日新聞は、

「あす初の航空日」の見出しで全国各地では陸海軍、逓信省、帝国飛行協会その他の航空団体を動員して航空大会、グライダー、航空講演、航空展など多彩な空の行事が行なわれ、津々浦々にいたるまで航空一色の日を送る予定と報じている。

富江盛男氏



平成5年11月20日 肝臓癌にて病没。 71歳。
遺族は富子夫人。

〒663 兵庫県西宮市津門住江町4番5号

TEL0798-33-6516

昭和18年9月 専門部法律学科卒

海軍予備学生。復員後東宝映画業務部。公益社
の勤務を体験して、自営。

霞ヶ浦の練習航空隊を終えて戦闘隊に配属され、零式戦闘機、紫電改に搭乗。バリックパパンではB-47やP-38などの迎撃戦闘に活躍して3機を撃墜破した。大分航空隊で敗戦を迎えて復員。

東宝映画社の映画館事務長等大阪、広島、松江を転任28年の映画畑、その後脱サラをするべく公益社で種々の経験をした上、独立して夫人と西宮で開業。逐次業績をあげ増員しながら奮闘していられた。『親切丁寧』をモットーとして、休日も無く対応する仕事から、夫妻で十数年を精いっぱい働いてすごされました。

若々しくて活動的な『タイワン氏(家族が台北在のためのニックネーム)』の亡くなったのは淋しい極みです。ご冥福を祈ります。

(昭和22年経卒 佐々木 哲)

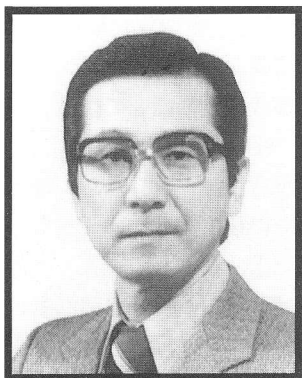
昭和16年航空部入部。なにごとにも器用にこなせるタイプ。

父上が台北の警察署長のため家族の方は台湾に住まれ、京都では下宿生活で通学。学費の送金額が決まっているので、当時はアルバイトも少なく大変な苦労であった。それでも航空部に入部したので、当時の金、土、日曜の飛行練習に伊丹飛行場への交通費をひねり出すことも辛かったとはなしていられた。英語の勉強と音楽が好きで、同志社イブの栄光館での音楽会には軽音楽のリーダーとして舞台でタクトを振っていた。

戦時の学業短縮あり、6ヶ月の繰り上げ卒業で13期海軍予備学生に採用され、海軍少尉。土浦、

翔友会副会長

永田 猛 氏



平成6年5月1日。腹膜炎にて病没。

昭和28年工学部卒。遺族 綾子夫人。

同志社大学航空部 OB 会(翔友会)副会長。同志社スポーツユニオン常任理事。

永年にわたり同志社大学航空部学生部員の育成と強化に大変なご配慮を戴きました。航空部 OB 会の結束への推進にも先頭で努力を続けていただいております。

特に、航空部50周年事業での資金集めの成果、記念式典の盛大な成功は同氏の尽力のたまものと会員一同の尊敬を集めておられました。更に作成された1万数千字の『航空部並びに OB 会への提言』により、翔友会は四委員会(教育、事業、文書、財務)が発足して、以来充実した方向に進展を続けております。

これからも指針を出して、推進して戴くと言う大切なときに、亡くなられたのは惜しみてもあまりあることにおもいます。

永年のご尽力にお礼申しあげるとともに、ご冥福をお祈り致します。

河 合 達 也

〒143 大田区南馬込 1-53-13
電話 (03) 3777-7057・3776-2426

昭和21年卒

同志社大学教授

工学博士

坂 口 一 彦

〒610-03 京 都 府 綴 喜 郡 田 辺 町
同志社大学工学部機械系学科
TEL 07746-5-6431
FAX 07746-5-6802

昭和32年卒



代表取締役 窪 田 昌 三

〒550 大阪市西区南堀江4丁目22-5 光洋ビル302
TEL 06-532-4004 FAX 06-532-4005

昭和39年卒

超硬工具・総形バイト・金型
ツールサービス株式会社

山 井 博 起

〒537 大阪市東成区東小橋1丁目18-1
松下ビル206号
TEL (06) 976-5838 (代)
FAX (06) 976-5839

昭和47年卒

東海ゴム工業株式会社
大阪支社 産業用品営業課

主 査 土 田 正 明

大阪市西区新町1丁目4番26号(四ツ橋中央ビル8階)
電 話 大 阪 06-533-2122番 (代)
郵便番号 550 FAX 531-9360
本社 小 牧 市 北 外 山 字 哥 津 3 6 0 0 番 地
電 話 0568-77-2121番

昭和49年卒



株式会社 アド電通大阪

第2連絡局
連絡部
主事

田 中 貴 裕

530 大阪市北区中之島2-3-1
中之島幸ビル
電話大阪(06)229-0133
FAX(06)229-1300

昭和59年卒

エーケー産業株式会社

取締役社長 向 井 清 人

〒456 名古屋市熱田区川並町2番20号
(愛知機械工業株式会社 本社内)
TEL (052) 683-1255
FAX (052) 681-6224

橋 本 元 雄

〒565 吹田市千里丘下27番27号
電話 (06) 877-9509

昭和16年卒

市川税理士事務所

〒590-04 大阪府泉南郡熊取町大字小垣内910-42
TEL (0724) 52-8496

昭和18年卒 市川 文男

読売新聞北陸支社

浅 山 浩

自宅 〒939-02
富山県射水郡大門町大門360
電話 (0766) 52-3484

昭和35年卒

コスモ石油株式会社 特約

森物産株式会社

〒604 京都市中京区間之町通り竹屋町下ル
電話 (075) 231-6175代

サンエー商事株式会社

〒615 京都市右京区山ノ内五反田町14-1
電話 (075) 802-5341代

昭和18年卒 森 茂

佐々木 哲

〒567 茨木市沢良宜浜2-15-10
TEL (0726) 32-1550

昭和22年卒

木下建設株式会社

取締役社長 木下 正一

〒600 京都市下京区西七条北東野町4番地
TEL (075) 313-0991・4991

昭和24年卒



東海プラントサービス株式会社

代表取締役社長
明 石 信 二

本社 〒438 静岡県磐田市西之島272
TEL (0538) 34-5001 (代表)
FAX (0538) 37-0865
営業所 浜松・名古屋・金沢・岐阜

昭和28年卒

未来の印刷を創る

合資会社 藤田印刷所



〒916 福井県鯖江市有定1丁目1-29
TEL (0778) 51-2805代
FAX (0778) 52-8543

昭和30年卒 藤田 武司

ウレタン、エポキシ、ポリアミド等 高分子化学の混合装置の設計・製造販売

櫻 プ ラ ン ト 株 式 会 社

代表取締役 三 浦 智 介

関連会社 (株)櫻製作所・櫻ジェッター(株)

〒532 大阪市淀川区三津屋中 3-11-5 TEL (06) 302-2122 FAX (06) 308-7119

昭和36年卒

紳士服 喜 田

〒530 大阪市北区同心1丁目1番22号
TEL (06) 358-5791~2

昭和33年卒 喜田 益生

吉 川 禎 一

〒606 京都市左京区北白川西平井町13-3
TEL (075) 723-6577

昭和30年卒

HIGH PERFORMANCE FA 総合メーカー
HIGH TECHNOLOGY

アポロ精工株式会社

代表取締役 河 口 精 二

専用機からライン自動機まで 一流メーカーの生産設備に数多くの実績を持っております

〒146 東京都大田区池上 8丁目14-11
TEL (03) 3753-7911 FAX (03) 3753-7801

昭和38年卒



求む!売物件

土地・建物・マンション



お知らせいて売りたい人・買いたい人御紹介下さい。

京 都 府 知 事 免 許 26919
(社)全国宅地建物取引業保証協会会員
(社)京都府宅地建物取引業協会会員
MRD全国不動産情報センター提携店
東 京 海 上 火 災 保 険 株 代 理 店

高 瀬 不 動 産

☎075-581-2704
075-593-7333 (FAX)

〒607 京都市山科区御陵曲洗町25(錦山小学校正門前北入)

昭和36年卒 高瀬 宗次

ハイテクで未来を創る

大西ハイメック株式会社

大阪支店 営業第一部 電子デバイスG

課 長 河 盛 啓 晏

〒530 大阪市北区東天満 2丁目3番21号
(日本興業空中心ビル)
電 話 (06) 354-2564 番
FAX (06) 351-2675 番
倉庫 大阪市北区紅梅町 6-18
〒530 電 話 (06) 358-2049 番

昭和42年卒

北アルプス白馬山麓



ペンション ハッピーホリデー

〒399-93 長野県北安曇郡白馬村大字北城3020-698
TEL (0261) 72-5664

昭和38年卒 瀬川 潔

牧 野 鐵 五 郎

〒662 西宮市南昭和町 6-15
電話 (0798) 67-2493 番

昭和19年卒

玉井石油株式会社

代表取締役 玉井 利宏

〒543 大阪市天王寺区筆ヶ崎町1-3
TEL (06) 772-4728
FAX (06) 772-9192
柏田給油所 TEL (06) 721-9944
南布施給油所 TEL (06) 727-6468

昭和40年卒



快適環境づくりが私たちの仕事です

給排水、衛生、空調設備、設計、施工

快適環境づくりのトータルマネージメント

一圓商事株式会社

代表取締役 一圓 億夫

〒522 彦根市小泉町19番地 電話 (0749) 22-7974(代)
FAX (0749) 24-5882

昭和42年卒

東邦化学工業株式会社

取締役 南村 清治

〒590 堺市大仙西町4丁目123
TEL (0722) 41-6464
FAX (0722) 41-6345

昭和45年卒



伝統美を現代に創造する。

夢の想

夢幻想
ETHNIC

和装小物

タケハナ株式会社

代表取締役 竹鼻 信昭

〒541 大阪市中央区北久宝寺町1-5-11
TEL (06) 262-4531~5
FAX (06) 271-6645

昭和43年卒



—— 人のための空間を ——



(有)新建築計画・設計室

代表取締役 箕浦 健二

〒500 岐阜市六条北2丁目10-11
TEL (0582) 73-2855
FAX (0582) 73-7283

昭和46年卒

家庭用品・照明器具・各種機械部品



株式会社 天吉

特殊部(本部) 〒544 大阪市生野区中川西1丁目19番8号
TEL 06 (731) 3901(代)
FAX 06 (731) 3904

照明部(経理) 〒544 大阪市生野区中川東1丁目8番28号
TEL 06 (754) 2386(代)
FAX 06 (754) 0372

家庭用品部 〒581 八尾市高砂町3丁目3番16号
TEL 0729 (98) 7654
FAX 0729 (98) 7655

昭和49年卒 速見 直喜



あこがれのきもの



本場大島紬

創作大島紬製造卸

紬の里

一富株式会社

〒602 京都市上京区室町通丸太町上ル ☎(075) 256-1515 (代表)

昭和48年卒 西山 市朗

文化興業株式会社

落合 俊 英

〒056 北海道静内郡静内町吉野2-13

TEL (01464) 2-1127

昭和50年卒

創作陶器 雅鳳窯 陶磁器卸商

丸宮陶器株式会社

常務取締役 宮地 隆 昌

〒509-54 岐阜県土岐市駄知町1520

TEL (0572) 59-2155代

FAX (0572) 59-2157

昭和56年卒

ザニュースコーポレーション

代表取締役
社長

岡 本 貴 好

大阪府堺市北花田町1-52-1

三大旭ビル303号

TEL 0722-52-6017

FAX 0722-52-5959

昭和19年卒

友 廣 勝

〒420 静岡市大岩宮下町6

TEL (0542) 45-3342

昭和19年卒

渡 辺 洋 一

〒565 豊中市新千里西町3-1

C-21-101

TEL (06) 872-9245

昭和30年卒

石 元 勲

〒567 茨木市郡3-5-24

TEL (0726) 43-8594

昭和40年卒

編集後記

- ・原稿をお送り戴いた諸兄と学生諸君、写真や資料を提供下さった皆様ご協力ありがとうございました。
- ・『翔友VIII』までは発行を毎年12月にしておりましたが、全国大会やその他の競技記録の掲載をするべくIX号より4月に編集することに致しました。発行が予定よりやや遅延しましたことをお詫び致します。
- ・小野先生の機名に関する一文は誠に興味深く、名は体を現わすといいますが、関西学生航空界のトップを切って導入されたアローヘッドは、文字通り関西学生航空界の先頭を切って大空に舞い上りました。
- ・これに続くイオラスも同志社だけでなく、広く全国的な学生の伎倆向上に役立つために獅子奮迅の働のすえ、今や満身創痍の状態で田辺の格納庫に静かに休息しています。風神も哭く働きというべきでしょう。
- ・これにくらべ、アイオーンIやイオラスII、アイオーンIIの二世達は、まだ十分に風を掴み切れず、息切れの状態、もう少し頑張って風風、風易してほしいものです。
- ・大先輩の方々の訃音が続々と到来するのは悲しい極みで、中でも石田氏は我等学生航空界の大指導者であり、永田氏は航空部再発足の立役者としての大先輩でありました。
- ・いづれの先輩の方々も航空部発展のために一方ならぬご尽力をいただきそのご厚意に対し心からお礼を申し上げると共に深い哀悼の意を表したいと思います。
- ・米国のグライダー界、次期導入機種の研究、グライダー力学等掲載の準備をして戴いたものもありますが、次号以降といたします。
- ・1996年(平成8年)が創部60周年になります。『50周年記念誌』の様なものは作成出来ませんが、50周年誌以降に『翔友』に掲載して残しておきたい記録や事実がありましたらお教え戴く様お願い致します。
- ・会員のみなさまのご健勝と航空部員諸君の健闘をいのります。

編集委員一同

翔友 IX 〈非売品〉

平成6年7月20日 発行

編 集 翔 友 会

発 行 同志社大学体育会航空部

印 刷 河北印刷株式会社

京都市南区唐橋門脇町28番地